

1. 事故発生の日時

平成22年2月17日(水) 9時50分頃

2. 事故発生の場所

新宮市熊野川町

3. 事故発生場所の工事名、工期、工事概要

工事名：平成21年度
道路改築工事
工期：平成21年 9月25日～平成22年 6月30日
工事概要：橋梁下部工 橋脚2基
橋脚コンクリート 534m³
場所打ち杭φ1500 12本

4. 請負業者名 県内建設業者

5. 事故発生状況

場所打ち杭掘削機をクローラクレーンにより吊り上げ、移動するにあたり、作業員が掘削機に接続している油圧ホース等の介錯作業を行っていた。同時作業を行っていたバックホウのアームが、掘削機に取り付けていた工具箱に接触、落下した工具箱が作業員の腰部にあたり負傷。

○男性1名負傷(下請け) 6～8週の休業(診断書)
左第1・第2・第3・第4腰椎横突起骨折
第2・第3棘突起骨折
左腸腰筋血腫

6. 事故原因

- ・クローラクレーンの作業範囲内において、バックホウで別作業を行っていた。
- ・重機作業に際して誘導員の配置をしていなかった。
- ・工具箱の固定が不十分であった。

7. 改善対策

- ・重機作業を行う際の作業計画を定め、作業手順の確認を徹底。
- ・重機作業の際は誘導員を配置し、重機の運転者及び作業員は誘導員の指示に従うこと。
- ・安全教育訓練、作業前打ち合わせ、危険予知等の再確認を行い、作業員の安全意識向上の徹底をはかる。
- ・現場内に当日の作業危険予防に関する注意喚起看板の設置、及び安全衛生管理改善計画へ記載。
- ・工具箱は、落下しない構造に改善。